

11月公演

平成24年 11月3日[土・祝]~25日[日]  
\*14日[関]は休演

文楽

人形浄瑠璃

通し  
狂言  
仮名  
本忠臣蔵

第一部

午前10時30分開演

- 大序 鶴が岡免改めの段  
恋歌の段
- 二段目 桃井館本蔵松切の段
- 三段目 下馬先進物の段  
腰元おかる文使いの段  
殿中刃傷の段  
裏門の段
- 四段目 花籠の段  
塩谷判官切腹の段  
城明渡しの段
- 五段目 山崎街道出合いの段  
二つ玉の段
- 六段目 身売りの段  
早野勘平腹切の段

第二部

午後4時30分開演

- 七段目 祇園一力茶屋の段
- 八段目 道行旅路の嫁入
- 九段目 雪転しの段  
山科閑居の段
- 大詰 花水橋引揚の段

写真:青木信二「祇園一力茶屋の段」

予約開始

10月3日(水) 10時~

電話予約 国立劇場チケットセンター [10時~17時]

☎ 0570(07)9900

☎ 03(3230)3000 [PHS・IP電話]

インターネット予約 [一般・パソコンのみ]

<http://ticket.ntj.jac.go.jp/>

窓口販売開始

10月4日(木) [チケット売場10時~18時]

※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません

ご観劇料

[1等] 一般 5,800円・学生 4,100円

[2等] 一般・学生とも 2,300円

[通し料金] (1等一般のみ) 9,800円

※障害者2割引(1等一般のみ)

車椅子用スペースがございます。ご予約時にお問い合わせ下さい

■便利な幕見席もございます(詳細はお問い合わせ下さい)

団体予約受付中

団体観劇(10名様以上)のお申し込みは

営業課営業会員係まで

☎ 06(6212)5782

字幕表示が  
ございます



国立文楽劇場 (大阪)

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号

☎ 06(6212)2531(代) <http://www.ntj.jac.go.jp/>

地下鉄・近鉄(日本橋) 駅下車7号出口より東へ徒歩約1分

※駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮下さい

再生紙を使用しております

# 通し狂言 仮名手本忠臣蔵

平成24年  
11月3日[土・祝]  
~25日[日]  
\*14日[日]は休演

## 【三段目】下馬先進物の段・腰元おかる文使いの段・殿中刃傷の段・裏門の段

元禄赤穂事件(一七〇一〜一七〇三)は、様々な文芸に取り上げられましたが、事件の四十七年目の寛延元年(一七四八)に大坂竹本座で人形浄瑠璃として初演されたのが、『仮名手本忠臣蔵』です。三人の合作者は、当局に配慮して『太平記』の設定を借り、本望を遂げる困難を訴え、関係する人々の苦悩を描いています。歌舞伎をはじめ、現代の文芸・芸能・映像作品にまで影響を与えている日本の戯曲史上重要な作品です。今回の公演は、一日がかりで一つの作品を上演する、通し狂言で、平成十六年以来となる本格的なものです。竹本座の伝統を受け継ぐ文楽が、総力を挙げて取り組みます。

本蔵が贈った金品の効き目で、師直は若狭助には追従しましたが、顔世からの拒絶の手紙を読み、判官に当たります。判官は堪えかね、師直に斬りつけてしまいます。判官の家来早野勘平は、腰元のおかるとの逢引が原因で、腹を切ろうとしますが、おかるに止められます。

## 【四段目】花籠の段・塩谷判官切腹の段・城明渡しの段

切腹を命じられた判官は、駆け付けた国家老大星由良助に、無念の思いを伝えます。由良助は形見の腹切刀を懐に、館を去ります。



## 【五段目】山崎街道出合いの段・二つ玉の段

おかるの実家で狐師をしている勘平は、同僚の千崎弥五郎と再会し、御用金の調達を約束します。おかるの父与市兵衛は、塩谷の旧臣斧定九郎に殺され、娘を売った金を奪われます。しかし定九郎も、勘平が撃った鉄砲で死に、勘平は金を手に入れます。

## 【六段目】身売りの段・早野勘平腹切の段

祇園の文字屋がおかるを迎えに来たところへ帰宅した勘平は、舅を殺したと思ひ込み、おかるを引き渡します。与市兵衛の遺体が運ばれ、義母には親殺しと罵られ、原郷右衛門と弥五郎にも責められた勘平は、腹を切ります。巡り巡って勘平が舅の敵を討つていたことが分かり、勘平は敵討の連判状に名を連ねるのでした。



## 第二部

午後4時30分開演(9時終演予定)

## 【七段目】祇園一力茶屋の段

由良助は夜毎遊興にふけっているという噂です。元塩谷の家老斧九太夫は師直方に内通しており、由良助の本心を探るため、祇園の一力茶屋に姿を現します。九太夫はいったん帰った振りをして、縁の下に潜みます。由良助が力弥の届けた顔世からの密書を読んでいると、遊女となつたおかるが二階から鏡に写して読み、九太夫も縁の下で読みます。その気配に気づいた由良助は、おかるに身請の話をもちかけます。おかるの兄で足輕の寺岡平右衛門は、大事を知つたおかるを斬つて一味に加わろうとし、おかるも勘平の死を知り、死を望みます。様子を聞いた由良助は平右衛門を一味に加え、おかるに裏切り者の九太夫を討たせてやるのでした。



## 【八段目】道行旅路の嫁入り

本蔵の娘小浪は由良助の息子力弥の許嫁。継母の戸無瀬は、祝言をさせようと小浪を伴い、東海道を西に向かいます。

## 【九段目】雪転しの段・山科閑居の段

山科に移り遊興を続ける由良助は、日陰に置けば雪も溶けないと、由良助は力弥を論じます。小浪を伴つた戸無瀬は、祝言を申し入れますが、由良助の妻お石に断られます。絶望した親子が思い余つて死のうとした時、お石は引き出物として主君判官の恨みが残る本蔵の首を望みます。そこへ虚無僧姿の本蔵が現れ、わざと力弥の手にかかります。自らの命を懸けて娘の祝言を頼み込む本蔵に、由良助はついに本心を明かすのでした。



## 【大詰】花水橋引揚の段

師直を討つた一同のもとへ、若狭助が現れます。若狭助に見送られ、一同は菩提所へ向かうのでした。

## 第一部 午前10時30分開演(4時終演予定)

## 【大序】鶴が岡兜改めの段・恋歌の段

將軍足利尊氏の弟の直義は、新田義貞の兜奉納を、高師直、桃井若狭助と塩谷判官に命じ、鑑定のため、判官の妻顔世御前を呼び出します。師直は顔世に恋文を渡し口説きますが、若狭助に阻まれ、若狭助を侮辱するのです。

## 【二段目】桃井館本蔵松切の段

若狭助は、家老の加古川本蔵に師直を討つ決心を伝えます。本蔵は同意しましたが、いすこかへ急ぎます。

予約開始  
10月3日(水)10時~  
電話予約 国立劇場チケットセンター [10時~17時]  
☎0570(07)9900  
☎03(3230)3000 [PHS・IP電話]  
インターネット予約 [一般・パソコンのみ]  
<http://ticket.ntj.jac.go.jp/>  
窓口販売開始  
10月4日(木) [チケット売場10時~18時]  
\*窓口販売用特別のお取り置きはございません

ご観劇料  
[1等] 一般 5,800円・学生 4,100円  
[2等] 一般・学生とも 2,300円  
[通し料金] (1等一般のみ) 9,800円  
\*障害者2割引(1等一般のみ)  
\*車椅子用スペースがございます。ご予約時にお問い合わせ下さい。  
\*便利な幕見席もございます(詳細はお問い合わせ下さい)  
一般のみの取扱い 10月3日(水)より  
チケットぴあ …… ☎0570(02)9999 [Pコード418-936]  
ローソンチケット …… ☎0570(000)407 [Lコード53510]  
e+(イープラス) …… <http://eplus.jp> (パソコン・携帯)  
JR西日本(京阪神地区)の主な駅のみどりの窓口

国立文楽劇場  
日本橋駅 地下鉄千日前線 千日前通  
7号出口  
ファミリーマート  
EVエレベーター  
EVエレベーター  
10号出口  
黒門市場  
<http://www.ntj.jac.go.jp/>  
〒542-0073大阪府中央区日本橋1丁目12番10号06(02)2531(代) \*駐車場がございます。お車での来場はご遠慮下さい。